

VI. 事業概要

項 目	内 容												
1. 下水道事業の役割	<p>下水道は、快適な生活環境の確保と公共水域の水質の保全を図るための施設であり、生活排水や産業活動等により生じた汚水を受け入れ、処理した後再び公共水域へ戻すという水環境システムを健全に保つための重要なものである。</p> <p>また、雨水などを適切に排除し、浸水などの被害を防ぐ働きも持っている。</p>												
2. 施行目的	<p>本市においても近年、各種産業の発達と生活様式の近代化にともない、生活排水や工場排水の増加を招き、賀茂川や本川等の公共水域の水質悪化を生じさせており、さらには瀬戸内海の富栄養化にも影響を及ぼしている。</p> <p>一方、本市の市街地は、地形上、周囲の山地からの河川の沖積地にあたる低地であり、しかも河川の河床が高いため、水はけが悪く、少量の降雨の場合でも滞水地が形成される状態で、浸水被害を起こしやすい地形となっている。</p> <p>こうした、本市の生活環境を根本的に改善し、公害も浸水もない快適な都市環境を実施させるため、公共下水道事業の推進をしている。</p>												
3. 施行方法 (下水排除方式)	<p>竹原市の公共下水道事業は、一般家庭や事業所から排除される汚水を1箇所に集めて浄化処理して放流する下水道(污水管)と、道路等に降った雨水等を集めて適切に排除させるための下水道(雨水管)をそれぞれ整備する「分流式」を採用している。</p> <p>「分流式」は、公共用水域の水質保全に対する効果において、「合流式」より有利である。</p>												
4. 下水道事業の流れ	資料 1 …… 22												
5. 経 緯	<p>・主な経緯について 資料 2 …… 23頁</p> <p>(1) 基本計画の策定</p> <table border="1" data-bbox="577 882 1991 1233"> <thead> <tr> <th data-bbox="577 882 768 922">順 位</th> <th data-bbox="768 882 943 922">年・月</th> <th colspan="2" data-bbox="943 882 1991 922">主 な 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="577 922 768 1074">当 初</td> <td data-bbox="768 922 943 1074">H.元.3</td> <td data-bbox="943 922 1196 1074">計画処理区域 計画処理人口 計画目標年次 概算工事費</td> <td data-bbox="1196 922 1991 1074">890.9ha (竹原, 622.8 ha 忠海, 268.1 ha) 35,700人 平成17年 526億7百万円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="577 1074 768 1233">第1回変更</td> <td data-bbox="768 1074 943 1233">H.11.3</td> <td data-bbox="943 1074 1196 1233">計画処理区域 計画処理人口 計画目標年次 概算工事費</td> <td data-bbox="1196 1074 1991 1233">989.0ha (竹原, 717.3 ha 忠海, 271.7 ha) 30,500人 平成30年 690億98百万円</td> </tr> </tbody> </table>	順 位	年・月	主 な 内 容		当 初	H.元.3	計画処理区域 計画処理人口 計画目標年次 概算工事費	890.9ha (竹原, 622.8 ha 忠海, 268.1 ha) 35,700人 平成17年 526億7百万円	第1回変更	H.11.3	計画処理区域 計画処理人口 計画目標年次 概算工事費	989.0ha (竹原, 717.3 ha 忠海, 271.7 ha) 30,500人 平成30年 690億98百万円
順 位	年・月	主 な 内 容											
当 初	H.元.3	計画処理区域 計画処理人口 計画目標年次 概算工事費	890.9ha (竹原, 622.8 ha 忠海, 268.1 ha) 35,700人 平成17年 526億7百万円										
第1回変更	H.11.3	計画処理区域 計画処理人口 計画目標年次 概算工事費	989.0ha (竹原, 717.3 ha 忠海, 271.7 ha) 30,500人 平成30年 690億98百万円										

項 目	内 容		
	(2) 都市計画の決定 (都市計画法第19条)		
	順 位	年・月	主 な 内 容
	当 初	H.2.1.11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 西部都市下水路の廃止 76ha ・ 竹原公共下水道の追加 697ha (竹原, 433ha 忠海, 264ha) ・ 分流式 ・ 竹原浄化センターの位置 三井金属鉱業(株)グラウンド ・ 忠海終末処理場の位置 忠海町字西ヶ迫佛舎谷
	第1回変更	H.8.3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理区域 697ha (竹原, 433ha 忠海, 264ha) ・ 浄化センターの位置変更 下野町字吉良崎 (竹原工業(株)所有地)
	第2回変更	H.11.12.8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理区域の変更 794ha (竹原, 530ha 忠海, 264ha)
	(3) 事業計画の認可 (下水道法第4条)		
	順 位	年・月	主 な 内 容
	当 初	H.2.1.22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理区域及排水区域 96.5ha ・ 竹原浄化センターの位置 三井金属鉱業(株)グラウンド ・ 処理人口 5,910人 (処理能力 4,815m³/日) ・ 処理方式 標準活性汚泥法 ・ 排水ポンプ場位置 竹原市中央4丁目 ・ 供用開始予定 平成7年度末 ・ 事業期間 ~平成8年3月31日
	第1回変更	H.8.3.28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理区域及排水区域 96.5ha ・ 浄化センターの位置の変更 下野町字吉良崎 (竹原工業(株)所有地) ・ 供用開始予定の変更 平成15年度末 ・ 事業期間の延伸 ~平成16年3月31日
	第2回変更	H.12.2.23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 処理区域及排水区域 96.5ha ・ 処理計画人口の変更 4,070人 (処理能力2,000m³/日) ・ 供用開始予定の変更 平成17年度末 ・ 事業期間の延伸 ~平成18年3月31日

項 目	内 容		
	第3回変更	H.14.11.27	<ul style="list-style-type: none"> ・処理区域及排水区域 96.5ha ・浄化センター処理方式の変更 凝集剤併用型ステップ流入式多段硝化脱窒法 ・供用開始予定の変更 平成18年度末 ・事業期間の延伸 ~平成19年3月31日
	第4回変更	H.17.6.9	<ul style="list-style-type: none"> ・処理区域及排水区域 96.5ha ・幹線管渠ルートの変更 県道竹原・吉名線にルート変更する。 ・汚泥処理棟の変更 建家計画を2棟に変更する。
	第5回変更	H.19.3.20	<ul style="list-style-type: none"> ・処理区域及排水区域の拡大 119.5ha ・処理計画人口の変更 4,380人(処理能力4,000m³/日) ・供用開始予定 平成18年度末 ・事業期間の延伸 ~平成25年3月31日
	<p>(4) 基本計画 (H.11.3 第1回変更) の概要</p> <p>① 目標年次 本計画目標年次は、平成30年度とする。</p> <p>② 計画区域 計画区域は、平成7年における用途指定地域902haの内、工業用地域の108haを除く794haと、将来市街地が予想され、他事業で工事するより本下水道計画へ包括した方が有利である区域195haを合わせた989haとする。</p>		

項 目	内 容						
	③ 計画概要						
	汚水処理計画	項 目	種 別	竹原処理区	忠海処理区	適 用	
		1. 計 画 目 標 年 次			平成30年	同左	
		2. 計画処理区域 (Ⅲ平面図参照)	市街化区域 流入区域 計	530.5 ha	263.6 ha		
				186.8 ha	8.1 ha		
				717.3 ha	271.7 ha	989 ha	
		3. 下 水 排 除 方 式			分流式	同左	
		4. 行 政 人 口			33,500人		
		5. 計 画 処 理 人 口			22,400人	8,100人	
		6. 家庭汚水量 原単位	日 平 均 日 最 大 時 間 最 大	410 l/人・日	同左		
				500 l/人・日	同左		
				775 l/人・日	同左		
7. 計画汚水量 (日最大)		家 庭 汚 水 量 工 場 排 水 量 計	11,200 m ³ /日	4,050 m ³ /日			
		740 m ³ /日	880 m ³ /日				
		11,940 m ³ /日	4,930 m ³ /日				
8. 計画流入水質	BOD COD S S T-N T-P	210 mg/l	250 mg/l				
		97 mg/l	130 mg/l				
		140 mg/l	160 mg/l				
		30 mg/l	31 mg/l				
		3.8 mg/l	13.0 mg/l				
9. 計画放流水質	BOD S S T-N T-P	5 mg/l	18 mg/l				
		5 mg/l	12 mg/l				
		10 mg/l	-				
		1 mg/l	-				
10. 終末処理場	処 理 方 式 処 理 能 力	ステップ流入式 多段硝化脱窒法		標準活性汚泥法			
		12,000 m ³ /日		5,000 m ³ /日			
11. 汚水中継ポンプ場			1	-			

項 目	内 容				
雨水排水計画	1. 計画目標年次	平成30年			適用
	2. 計画排水区域 (IV平面図参照)	計画排水区域は989haとするが、地形的に直接、河や海に降雨が流出する区域は、雨水排水施設の必要性がないため、計画では直接流出区域として管渠計画は行わない。			
	3. 幹線各等	排水区名	幹線名	ポンプ場	
		吉名第2排水区	吉名雨水幹線		
		吉名第4排水区		沖辺雨水排水ポンプ場	
		多井新開排水区	多井新開雨水幹線	多井新開雨水排水ポンプ場	
		中央排水区	中央1号・2号・3号 雨水幹線	中央第2雨水排水ポンプ場	
		中通排水区	中通雨水幹線		
		吉崎新開排水区	吉崎新開雨水幹線		
		本川排水区	本川雨水幹線		
		西野第1排水区	西野第1雨水幹線		
		東野第2排水区	東野第2雨水幹線		
		東野第3排水区	東野第3雨水幹線	東野雨水排水ポンプ場	
		東野第5排水区	東野第5雨水幹線		
		新庄第1排水区	新庄第1雨水幹線		
		新庄第3排水区	新庄第3雨水幹線		
		新庄第4排水区	新庄第4号・5号 雨水幹線		
沖条排水区	沖条雨水幹線	沖条雨水排水ポンプ場			
堂沖排水区	堂沖雨水幹線	堂沖雨水排水ポンプ場			

項 目	内 容					
	(5) 事業計画 (H.19.3 第5回変更) の概要					
	項目	汚水処理		雨水排水		
	区域面積等	竹原処理区 119.5ha		中央排水区他4排水区 119.5ha		
	処理施設 概 要	施設名	竹原浄化センター		施設名	中央第2雨水排水ポンプ場
		位置	竹原市下野町字吉良崎		位置	竹原市中央4丁目
		敷地面積	3.43ha		敷地面積	0.29ha
		放流水質	BOD 15mg/ T-N 20mg/ T-P 2.8mg/		最大揚水量	688m ³ /min
		処理方法	凝集剤併用型ステップ 流入式多段硝化脱窒法		主要施設	沈砂池 3池 (水面負荷 3,600m ³ /m ² ・日) 主ポンプ (立軸斜流ポンプ) 径 700mm 1台 径 1,500mm 2台 受変電設備 一式 自動発電設備 一式
		処理能力	4,000m ³ /日最大			
		計画処理人口	4,380人			
	管渠	◎200mm ～ ◎400mm	5,740m	□1200mm×1700mm □1,500mm～ 2,500mm ◎1,650mm～ 2,000mm	1,470m	
	事業費	管渠(汚水・雨水)		6,065百万円		
		ポンプ場		3,069百万円		
雨P, 中継P		4,123百万円				
計		13,257百万円				
事業期間		平成2年1月22日～平成25年3月31日				

項 目	内 容																																																																
	<p>(6) 整備状況 (Ⅱ 供用開始区域図参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 汚水処理は、竹原処理区の中心市街地 119.5ha の面的整備、幹線管渠、汚水処理場の建設等、計画的な整備を推進し、平成 18 年 8 月に念願の竹原浄化センターの供用開始を行い、現在、整備面積 72.4ha、整備率にして約 61%、下水道人口普及率は約 8.9%、水洗化率は約 40% である。 ・ 雨水排水は、市街地における雨水の排除による浸水防除として、中央排水区 89ha の整備を重点的に進めているところであり、平成 18 年 6 月に中央第 2 雨水排水ポンプ場の供用開始を行い、現在、約 44ha の排水処理を行っており、中央排水区の整備率は約 37% である。 <p>平成 21 年度に予定している区画整備事業区域内幹線水路、約 100m を整備すれば、中央排水区については、概ね 70% の整備率となる見込みである。</p> <p>① 実施状況 (H18 事業計画との比較)</p> <table border="1" data-bbox="640 608 1962 1374"> <thead> <tr> <th data-bbox="640 608 786 647">施 設</th> <th data-bbox="786 608 1070 647">項 目</th> <th data-bbox="1070 608 1514 647">H18 事業計画</th> <th data-bbox="1514 608 1962 647">実施状況 (H20.3 末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="640 647 786 967" rowspan="7">浄化センター</td> <td data-bbox="786 647 1070 687">水処理棟</td> <td data-bbox="1070 647 1514 687">1 / 3 棟</td> <td data-bbox="1514 647 1962 687">1/3 棟・2/6 池(整備 1/6 池)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 687 1070 727">汚泥処理棟</td> <td data-bbox="1070 687 1514 727">1 / 2 棟</td> <td data-bbox="1514 687 1962 727">1 / 2 棟</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 727 1070 767">管理棟</td> <td data-bbox="1070 727 1514 767">1 棟</td> <td data-bbox="1514 727 1962 767">1 棟</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 767 1070 807">土壌脱臭施設</td> <td data-bbox="1070 767 1514 807">1 式</td> <td data-bbox="1514 767 1962 807">1 式</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 807 1070 847">ふれあいホール</td> <td data-bbox="1070 807 1514 847">1 棟</td> <td data-bbox="1514 807 1962 847">1 棟</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 847 1070 887">放流渠</td> <td data-bbox="1070 847 1514 887">1 式</td> <td data-bbox="1514 847 1962 887">1 式</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 887 1070 927">ロータリー等</td> <td data-bbox="1070 887 1514 927">1 式</td> <td data-bbox="1514 887 1962 927">1 式</td> </tr> <tr> <td data-bbox="640 927 786 967">事業費</td> <td data-bbox="786 927 1070 967"></td> <td data-bbox="1070 927 1514 967">3,716 百万円</td> <td data-bbox="1514 927 1962 967">3,789 百万円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="640 967 786 1086" rowspan="3">管渠</td> <td data-bbox="786 967 1070 1007">汚水管渠</td> <td data-bbox="1070 967 1514 1007">5,740m</td> <td data-bbox="1514 967 1962 1007">4,960m</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1007 1070 1046">雨水管渠</td> <td data-bbox="1070 1007 1514 1046">1,470m</td> <td data-bbox="1514 1007 1962 1046">746m</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1046 1070 1086">事業費</td> <td data-bbox="1070 1046 1514 1086">4,937 百万円</td> <td data-bbox="1514 1046 1962 1086">4,775 百万円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="640 1086 786 1374" rowspan="7">ポンプ場</td> <td data-bbox="786 1086 1070 1126">沈砂池</td> <td data-bbox="1070 1086 1514 1126">3 池</td> <td data-bbox="1514 1086 1962 1126">3 池</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1126 1070 1166">主ポンプ</td> <td data-bbox="1070 1126 1514 1166">径 700mm 1 台 径 1,500mm 2 台</td> <td data-bbox="1514 1126 1962 1166">径 700mm 1 台 径 1,500mm 2 台</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1166 1070 1206">上屋 (RC 造)</td> <td data-bbox="1070 1166 1514 1206">RC 造 1 棟</td> <td data-bbox="1514 1166 1962 1206">RC 造 1 棟</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1206 1070 1246">受変電設備</td> <td data-bbox="1070 1206 1514 1246">1 式</td> <td data-bbox="1514 1206 1962 1246">1 式</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1246 1070 1286">自家発電設備</td> <td data-bbox="1070 1246 1514 1286">1 式</td> <td data-bbox="1514 1246 1962 1286">1 式</td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1286 1070 1326">中継ポンプ</td> <td data-bbox="1070 1286 1514 1326">築地ポンプ場</td> <td data-bbox="1514 1286 1962 1326"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="786 1326 1070 1374">事業費</td> <td data-bbox="1070 1326 1514 1374">3,069 百万円</td> <td data-bbox="1514 1326 1962 1374">2,998 百万円</td> </tr> </tbody> </table>			施 設	項 目	H18 事業計画	実施状況 (H20.3 末)	浄化センター	水処理棟	1 / 3 棟	1/3 棟・2/6 池(整備 1/6 池)	汚泥処理棟	1 / 2 棟	1 / 2 棟	管理棟	1 棟	1 棟	土壌脱臭施設	1 式	1 式	ふれあいホール	1 棟	1 棟	放流渠	1 式	1 式	ロータリー等	1 式	1 式	事業費		3,716 百万円	3,789 百万円	管渠	汚水管渠	5,740m	4,960m	雨水管渠	1,470m	746m	事業費	4,937 百万円	4,775 百万円	ポンプ場	沈砂池	3 池	3 池	主ポンプ	径 700mm 1 台 径 1,500mm 2 台	径 700mm 1 台 径 1,500mm 2 台	上屋 (RC 造)	RC 造 1 棟	RC 造 1 棟	受変電設備	1 式	1 式	自家発電設備	1 式	1 式	中継ポンプ	築地ポンプ場		事業費	3,069 百万円	2,998 百万円
施 設	項 目	H18 事業計画	実施状況 (H20.3 末)																																																														
浄化センター	水処理棟	1 / 3 棟	1/3 棟・2/6 池(整備 1/6 池)																																																														
	汚泥処理棟	1 / 2 棟	1 / 2 棟																																																														
	管理棟	1 棟	1 棟																																																														
	土壌脱臭施設	1 式	1 式																																																														
	ふれあいホール	1 棟	1 棟																																																														
	放流渠	1 式	1 式																																																														
	ロータリー等	1 式	1 式																																																														
事業費		3,716 百万円	3,789 百万円																																																														
管渠	汚水管渠	5,740m	4,960m																																																														
	雨水管渠	1,470m	746m																																																														
	事業費	4,937 百万円	4,775 百万円																																																														
ポンプ場	沈砂池	3 池	3 池																																																														
	主ポンプ	径 700mm 1 台 径 1,500mm 2 台	径 700mm 1 台 径 1,500mm 2 台																																																														
	上屋 (RC 造)	RC 造 1 棟	RC 造 1 棟																																																														
	受変電設備	1 式	1 式																																																														
	自家発電設備	1 式	1 式																																																														
	中継ポンプ	築地ポンプ場																																																															
	事業費	3,069 百万円	2,998 百万円																																																														

項 目	内 容
	<p>② 進捗状況（污水）</p> <p>整備面積 72.4 ha</p> <p>面積整備率 72.4 ha / 119.5 ha ≒ 61%</p> <p>処理人口 2,700人</p> <p>下水道人口普及率 2,700人 / 30,278人 ≒ 8.9%</p> <p>水洗化人口 1,080人</p> <p>水洗化率 1,080人 / 2,700人 ≒ 40%</p> <p>③ 進捗状況（雨水）</p> <p>整備面積 44 ha</p> <p>面積整備率 44 ha / 119.5 ha ≒ 37%</p> <p>(7) 事業実施経緯対照表 資料 3 …… 24頁</p> <p>(8) 経営指標（H20.3末）</p> <p>① 施設の効率性を計る指標</p> <p>水洗化率（%）= 1,080人 / 2,700人 ≒ 40%</p> <p>有効水率（%）= 103,102 m³ / 118,981 m³ = 86.7%</p> <p>② 経営の効率性を計る指標</p> <p>使用料単価（円 / m³） 16,374,000円 / 103,102 m³ = 158.8円</p> <p>汚水処理原価（円 / m³） 82,822,000円 / 103,102 m³ = 803.3円</p> <p>（維持管理費分） 55,769,000円 / 103,102 m³ = 540.9円</p> <p>（資本費分） 27,053,000円 / 103,102 m³ = 262.4円</p> <p>経費回収率（%） 158.8円 / 803.3円 = 19.7%</p> <p>（維持管理費分） 158.8 / 540.9円 = 29.3%</p> <p>使用料回収率（%） 16,374,000円 / 82,822,000円 = 19.7%</p>

項 目	内 容	
H18 総務省下水道事業経営指標との比較		
	総 務 省 指 標	竹原市指標
全国平均値 (供用開始 後年数区分 5年未満)	水洗化率	44.2%
	有効水率	86.0%
	一般家庭用使用料 20 m ³ (円/月)	3,019円
	使用料単価	160.72円
	汚水処理原価	744.56円
	経費回収率	21.6%
	使用料回収率 (%)	22%
	<p data-bbox="510 762 658 794">③ 分 析</p> <p data-bbox="568 804 2092 916">本市の経営指標と類似固体平均値の経営指標を比較した場合、「施設の効率性」については、有効水率は全国平均を達成しているが、水洗化率は下回っている。一方、「経営の効率性」をあらわす使用料単価、汚水処理原価、経営回収率、使用料回収率は若干下回っており、経費削減とともに水洗化率の向上に取組み使用料増大を図っていく必要がある。</p>	

項 目	内 容																																																															
	<p>(9) 財政運営進行管理</p> <p>● 供用開始以降の下水道事業の健全な運営を図るため、平成18年度から平成24年度までの年間の事業財政推計を平成17年度に策定した。</p> <p>その平成18年度から平成20年度までの進行管理は次のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">H18～H20進行管理 単位 千円</p> <table border="1" data-bbox="412 496 2049 732"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項 目</th> <th colspan="5">支 出</th> <th colspan="5">収 入</th> </tr> <tr> <th>整備面積</th> <th>建設費</th> <th>維持管理費</th> <th>償還費</th> <th>計</th> <th>国補</th> <th>起債</th> <th>諸収入</th> <th>一般財源</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H17 財政推計</td> <td>84</td> <td>1,136,720</td> <td>408,471</td> <td>580,005</td> <td>2,125,196</td> <td>531,931</td> <td>550,470</td> <td>380,700</td> <td>662,095</td> <td>2,125,196</td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>77.6</td> <td>1,234,784</td> <td>222,949</td> <td>571,424</td> <td>2,029,157</td> <td>540,210</td> <td>594,500</td> <td>389,307</td> <td>505,140</td> <td>2,029,157</td> </tr> <tr> <td>差 額</td> <td>△6.4</td> <td>98,064</td> <td>△185,522</td> <td>△8,581</td> <td>△96,039</td> <td>8,279</td> <td>44,030</td> <td>8,607</td> <td>△156,955</td> <td>△96,039</td> </tr> </tbody> </table> <p>注1. H17 財政推計は、市議会に説明を行ったものである。</p> <p>注2. 実績は、H18, H19は決算額、H20は予算額を累計したものである。</p> <p>注3. 支出には人件費を含む。</p> <p>注4. 収入の諸収入は、受益者負担金、下水使用料及其他収入の合計額である。</p> <p>注5. 整備面積の平成20年度は予定であり、H19での実績は72.4ha (H17 財政推計75ha) である。</p>										項 目	支 出					収 入					整備面積	建設費	維持管理費	償還費	計	国補	起債	諸収入	一般財源	計	H17 財政推計	84	1,136,720	408,471	580,005	2,125,196	531,931	550,470	380,700	662,095	2,125,196	実 績	77.6	1,234,784	222,949	571,424	2,029,157	540,210	594,500	389,307	505,140	2,029,157	差 額	△6.4	98,064	△185,522	△8,581	△96,039	8,279	44,030	8,607	△156,955	△96,039
項 目	支 出					収 入																																																										
	整備面積	建設費	維持管理費	償還費	計	国補	起債	諸収入	一般財源	計																																																						
H17 財政推計	84	1,136,720	408,471	580,005	2,125,196	531,931	550,470	380,700	662,095	2,125,196																																																						
実 績	77.6	1,234,784	222,949	571,424	2,029,157	540,210	594,500	389,307	505,140	2,029,157																																																						
差 額	△6.4	98,064	△185,522	△8,581	△96,039	8,279	44,030	8,607	△156,955	△96,039																																																						

項 目	内 容
	<p>(10) 事業啓発等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●下水道の有する役割や仕組みについて、又、下水道普及率向上のための啓発を広報「たけはら」の活用により行っている。 ●下水道事業の面的整備にあたっては、地区説明会、あるいは戸別訪問による説明をする中で、下水道の必要性等について理解を得ることにより、整備後の水洗化率向上に努めた。 ●広報「たけはら」の活用、地区説明会等の実績 <p>①H10. 4. 6 広報「たけはら」</p> <p style="padding-left: 40px;">本格的な事業着手にあたって広報「下水道特集」を発行して基本方針等情報提供をした。</p> <p>②H17. 8～H19. 5 広報「たけはら」</p> <p style="padding-left: 40px;">「下水道、なぜ、なに？」シリーズとして、下水道に関する疑問点をQ & A形式で啓発した。延べ18回発行している。</p> <p>③H17. 9. 2～10. 9</p> <p style="padding-left: 40px;">新町、本川、扇町、榎町、中須、塩浜、北堀の密集市街地について、供用開始にあたり小ブロックによる地区別説明を開催し、下水道について理解を得る取組みをした。</p> <p style="padding-left: 40px;">延べ19回の説明会実施。</p> <p>④H20. 9. 5 広報「たけはら」予定</p> <p style="padding-left: 40px;">水洗化率の向上を図るため広報9月号に「下水道特集」を掲載するとともに、下水道接続工事の啓発チラシを供用開始区域内各戸に配布する予定でいる。</p> <p>(11) 課 題</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 水洗化率の向上による使用料増大が喫緊の課題である。 ② 整備区域の拡大による効率的な事業促進が必要である。 ③ 安心、安全な住環境をつくるための効果的な雨水対策が必要である。